

政策目標（指標項目）中間目標値の検証結果

平成 22 年 7 月 12 日  
第 1 回 総合計画審議会  
参 考 資 料 No. 5

基本政策 (7項目)	政策分野 (20項目)	政策目標												
		目指す状態	指標項目	策定時実績値		今回の中間検証					目標値 (H26)			
				時点 (年度)	時点 (年度)	目標値 (H22)	実績値	時点 (年度)	時点 (年度)	判定				
1	人にやさしい自立と共生のまち	1	住民自治と市民活動の充実した市民が主役のまちづくり	1	地域協議会委員に定数以上の応募があった地域自治区の割合	38.5%	H16	45.0%	0.0%	H22.6	H21	×	55.0%	
				2	当初:ボランティア活動に参加している市民の割合 今回:市民活動や地域活動に参加している市民の割合 ※今後、住民自治がより一層重要となることから、今回から、ボランティア活動に限定しない設問とした。 (上越市市民の声アンケート)	8.1%	H17	9.7%	43.3%	H22.1	H21	—	11.9%	
	2	協調と融和を基調とした人にやさしいまちづくり	門地、性別、障害の有無、国籍等による意識上の障壁を含むあらゆる障壁が解消され、多様な価値観を認め合う人にやさしいまち。	3	バリアフリーの面で支障を感じる市民の割合 (上越市人権・同和問題に関する市民アンケート調査)	41.2%	H17	36.4%	調査中 (9月確定見込み)	H22.6	H22		30.0%	
				4	人権同和問題に関する正しい理解度 (上越市人権・同和問題に関する市民アンケート調査)	73.9%	H17	80.3%	調査中 (9月確定見込み)	H22.6	H22		88.9%	
				5	在住外国人との共生に関する正しい理解度 (上越市人権・同和問題に関する市民アンケート調査)	37.6%	H17	46.1%	調査中 (9月確定見込み)	H22.6	H22		57.4%	
				6	男女の地位の平等感 (上越市男女共同参画に関する市民意識調査)	25.0%	H16	30.5%	31.3%	H22.4	H22	○	35.0%	
2	自立した自治体運営が確立したまち	1	効果的で効率的な行政運営の推進	7	PDCAサイクルに基づく業務執行の定着度	—	—	100%	44%	H21.3	H20	×	100%	
				8	職員数	2,240人	H19	2,079人	2,041人	H22.4.1 現在	H22	○	1,950人	
				9	市の情報提供に満足している市民の割合 (上越市市民の声アンケート)	42.8%	H17	58.0%	40.8%	H22.1	H21	×	70.0%	
		2	弾力性のある自立した財政基盤の確立	歳入の適正な確保と計画的な財政運営、土地開発公社の経営健全化などを通じた健全な財政運営を推進し、弾力性のある自立した財政基盤が確立された状態。	10	収納率	94.8%	H18	95.0%	94.6%	H22.5	H21	×	95.0%
					11	実質単年度収支	-2.75億円	H18	黒字	黒字 (4.09億円)	H20決算時点(H21.9)	H20	○	黒字
					12	通常分の市債残高	1,135億円	H18	1,095億円	847億円	H20決算時点(H21.9)	H20	○	1,055億円
				13	土地開発公社の土地保有額	225億円	H18	138億円	185億円	H21年度末	H21	×	52億円	
3	つながりを育み続ける都市基盤が確立したまち	1	地域の特性をいかした魅力あふれる空間の形成	機能的な土地利用を推進するとともに、水と緑豊かな都市空間や良好な景観を形成し、市民生活や企業活動を支えるライフラインを確立することによって、地域の特性をいかした魅力あふれる空間が形成されたまち。	14	市街化区域の未利用地面積	143.2ha	H18	75.9ha	102.2ha	H22.6	H22	×	50.7ha
					15	当初:景観形成地区指定面積 今回:景観づくり重点区域面積 ※上越市景観計画の策定に伴う文言修正	70.2ha	H18	70.2ha	70.2ha	H22.6	H22	○	80.0ha
					16	緑や水辺が豊かだと感じる市民の割合 (上越市市民の声アンケート)	58.2%	H17	59.1%	62.5%	H22.1	H21	○	60.0%
					17	石綿セメント管残延長	106,553m	H18	66,253m	53,581m	H22.6	H22	○	29,031m
					18	ねずみ铸铁管残延長	10,589m	H18	2,924m	931m	H22.6	H22	○	0m
					19	地上デジタル放送の視聴可能世帯率	95.0%	H19	100%	99.2%	H22.3	H21	×	100%
	2	人やまちをつなぎ魅力を高める交通ネットワークの確立	市内における都市構造と公共交通・道路ネットワークの一体的な構築が進み、港湾機能や高速交通ネットワークが充実することによって、市の拠点性が高まり、交流の拡大や投資を誘引する基盤が確立されたまち。	20	市内高速道路インターチェンジの利用台数	562万台	H17	588万台	650万台	H22.3	H21	○	609万台	
				21	鉄道の利用者数	328万人	H17	324万人	7月末確定予定	H21	H21		344万人	
				22	路線バスの利用者数	293万人	H17	290万人	234万人	H21	H21	×	308万人	

基本政策 (7項目)	政策分野 (20項目)	政策目標												
		目指す状態	指標項目	策定時実績値		今回の中間検証					目標値 (H26)			
				時点 (年度)	目標値 (H22)	実績値	時点	時点 (年度)	判定					
4	自然と共生し、安全に安心して暮らせるまち	1	人と自然が共生する環境にやさしいまちづくり	環境学習の推進と合わせて、地球環境、自然環境、生活環境それぞれに対する環境負荷が軽減され、人と自然が共生する環境にやさしいまち。	23	環境改善活動を実践する市民の割合(上越市環境市民アンケート)	60.4%	H16	68.5%	64.3%	H21	H21	×	75.0%
					24	二酸化炭素排出量(CO2換算)	2,862千t	H15	2,109千t	2,664千t	H18	H18	×	2,094千t
					25	森林面積(民有林面積)	48,786ha	H17	48,791ha	48,776ha	H21.3	H21	×	48,795ha
					26	市民1人当たりの家庭ごみ排出量	301kg	H18	297kg	244kg	H22.4	H21	○	291kg
					27	汚水衛生処理率(生活排水処理が適切に処理されている人口割合)	56%	H16	71%	74%	H22.6	H22	○	80%
	2	災害から市民の生命と財産を守るまちづくり	災害に強い都市構造の構築が進み、地域ぐるみの防災力が向上し、さらには発生した災害に迅速かつ的確に対応できる体制の確保によって、災害への高い対応能力を持ったまち。	28	公共の施設の耐震化整備率	14.0%	H18	50.0%	51.4%	H21年度末	H21	○	85.0%	
				29	火災発生件数	64件	H18	58件	57件	H21.12(暦年)	H21	○	58件	
				30	自主防災組織の組織率	60.0%	H18	84.1%	83.9%	H22.3	H21	×	100%	
	3	犯罪と事故から市民を守るまちづくり	犯罪による被害や交通事故を未然に防ぐ啓発活動が推進され、地域ぐるみの防犯力が向上することによって、事故や犯罪の発生が抑制された安心感の高いまち。	31	犯罪発生件数	2,002件	H18	1,802件	1,667件	H21.12(暦年)	H21	○	1,802件	
				32	交通事故死者数	15人	H18	13人以下	6人	H21.12(暦年)	H21	○	13人以下	
	4	雪と上手に付き合う暮らしを実現するまちづくり	雪がもたらす障壁を克服しつつ、雪を資源として活用する工夫などを通じて、雪と上手につきあう暮らしが営まれるまち。	33	幹線市道における交通不能発生件数	0件	H18	0件	0件	H22.3	H21	○	0件	
				34	雪に関する新技術・活用モデルの調査研究数	2件	H18	2件	2件	H22.3	H21	○	2件	
	5	1	農林水産業によるなりわいを創出するまちづくり	意欲ある担い手の育成や生産性の向上、生産物の付加価値の向上などによって、農林水産業の多面的な機能が維持されつつ、生産者の高い生産意欲や産地としての高い競争力を持ったまち。	35	農業産出額	226億円	H17	243億円	※国がH18年で市町村別集計を廃止			—	265億円
36					林業経営体数(※一定の規模・年数にわたり林業を行う世帯等)	306	H17	300	集計中(秋に公表予定)	H22.秋	H22		300	
37					漁業従事者数	178人	H15	170人	163人	H20.11	H20	×	170人	
2		ものづくり産業による付加価値を高めるまちづくり	ものづくり産業の集積や新産業の創出、物流・貿易の振興によって、市域の中で高い付加価値が創出されるまち。	38	工業における付加価値額	2,262億円	H17	2,661億円	2,017億円	H20.12(暦年)	H20	×	2,979億円	
				39	直江津港貨物取扱量	6,086千t	H17	6,133千t	2,135千t	H22.1(暦年)	H21	×	6,170千t	
3		交流によるにぎわいと「外貨」をもたらすまちづくり	地域資源をいかした観光産業や中心市街地の活性化によってにぎわいをもたらされ、市外からの「外貨」が集まるまち。	40	市内宿泊客数(上越市観光動態調査)	20.99万人	H18	22.73万人	26.58万人	H22.1(暦年)	H21	○	24.59万人	
				41	観光ホームページアクセス数	15.98万件	H18	19.45万件	39.54万件	H22.3	H21	○	23.64万件	
				42	商店街歩行者数(※高田3か所、直江津2か所の平均値/上越市内商店街等交通量調査)	7,129人	H17	7,000人	4,407人	H22.5	H21	×	7,500人	
4		企業連携と雇用促進により経済基盤を強化するまちづくり	起業や企業連携、人材育成の双方が促進されることによって、産業活動が生み出した価値が市域内で循環する連関性が高まるとともに、雇用環境と就労機会が充実し、地元の求人が地元の人材で充足しているまち。	43	事業所数	10,558	H16	10,000	11,011	H18.10	H18	○	10,000	
				44	有効求人倍率(常用)	0.96倍	H17	1.00倍	0.33倍	H22.3	H21	×	1.05倍	
	45			高校卒業後の地元就職割合	67.4%	H17	74.4%	78.9%	H22.3	H21	○	80.0%		
	46			Uターン登録就職者	18人	H17	21人	6人	H21	H21	×	25人		
	47			勤労者福祉サービスセンター加入企業数	911	H17	1,106	1,190	H22.3	H21	○	1,262		

基本政策 (7項目)	政策分野 (20項目)	政策目標										
		目指す状態	指標項目	策定時実績値	今回の中間検証					目標値 (H26)		
					時点 (年度)	目標値 (H22)	実績値	時点	時点 (年度)		判定	
6	みんなの健やかな生活を 支え合うまち	1 心身共に健康で暮らせるまち づくり	市民が健康に配慮した生活を送るとともに、いざというときに身近で適切な医療が受けられる体制を構築することによって、誰もが心身共に健康で暮らせるまち。	48 特定健診受診率 (※40～74歳の国民健康保険加入者を対象とする)	32.5%	H18	55.0%	43.4%	H22.3	H21	×	65.0%
				49 市民1人当たりの医療費増減度 (※74歳以下の国民健康保険加入者を対象とする)	100.0	H19	106.1	105.0	H21	H21	○	114.9
				50 救急指定病院数	8	H19	8	7	H22.4	H22	×	8
	2 誰もが社会の一員としていき いきと暮らせる福祉のまちづく り	高齢者や障害のある人など、日常生活を営む上で支援を必要とする人に対し、それぞれの能力に応じた自立や社会参加に向けた支援が地域全体で行われることによって、誰もが地域社会を構成する一員としていきいきと暮らせる福祉のまち。	51 介護予防効果による介護抑制割合 (※特段の対策を講じない場合の推計値を基準とする)	—	—	1.21%	1.32%	H22.5	H22	○	1.23%	
			52 福祉施設から一般就労への移行者数	6人	H17	16人	13人	H22.3	H21	×	24人	
			53 被保護世帯の就労世帯率	7.6%	H18	7.8%	9.2%	H22.4	H21	○	8.0%	
	3 みんなが笑顔で子育てできる まちづくり	児童福祉や保育サービスの充実、地域ぐるみで子育てを支援する環境づくりなどを通じて、みんなが笑顔で子育てできるまち。	54 乳児健康診査受診率	93.6%	H18	95.0%	95.0%	H22.4	H21	○	97.0%	
			55 子育てをしやすいと感じる市民の割合 (上越市市民の声アンケート)	53.7%	H17	60.0%	51.3%	H22.1	H21	×	70.0%	
	7	人が学び、育ち、高め 合うまち	1 未来に生きる力を持った子ども を育むまちづくり	学校教育の充実や地域ぐるみの教育力の向上によって、未来を自ら切り開いていくために必要な生きる力を持った子どもが育つまち。	56 子どもたちは充実した学校生活を送っていると感じる市民の割合 (上越市市民の声アンケート)	56.2%	H17	63.0%	63.9%	H22.1	H21	○
57 子どもの健全育成に関わる地域住民数 (※学校支援ボランティア登録者数)					693人	H19	802人	998人	H22.3	H21	○	975人
58 未成年者の検挙・補導数					132人	H18	109人	92人	H22.5	H21	○	91人
2 学びやスポーツを生きがいに 高めるまちづくり		多くの市民が学びやスポーツ活動を日常生活に取り入れ、いきいきと活動しているまち。	59 生涯学習を行う市民の割合 (上越市生涯学習に関するアンケート調査)	40.9%	H17	60.0%	84.8%	H22.4.10～ H22.5.10	H22	○	65.0%	
			60 週1回以上スポーツを行う市民の割合 (上越市民の健康と運動・スポーツに関する意識調査)	26.0%	H17	36.0%	35.3%	H22.4.10～ H22.5.10	H22	×	44.0%	
3 歴史と伝統に彩られた文化と 誇りあふれるまちづくり		市固有の歴史・文化が、まちのアイデンティティや市民の愛着、誇りとして浸透し、次世代に継承される、歴史と伝統に彩られたまち。	61 市指定文化財件数	305件	H17	315件	354件	H22.6	H22	○	320件	
			62 主な文化・芸術関連施設の入館者数 (※総合博物館、小林古径記念美術館、上越文化会館)	174,835人	H18	180,000人	201,338人	H22.3	H21	○	185,000人	
			63 当初：市の歴史的、文化的資源に関する認識度 今回：市の歴史的、文化的資源が、守り活かされていると感じる市民の割合 ※計画策定時に設定した指標項目について、より具体的な内容の設問とした。 (上越市市民の声アンケート)	—	—	50.0%	48.1%	H22.1	H21	×	75.0%	

### 63項目のうち・・・

- 目標達成 … 32項目
- 目標未達成 … 24項目
- 調査中 … 5項目
- その他  
(実績把握困難、判定不可など) … 2項目